

知って備える 防災メモ

第4回



●雨による災害に備えを

大雨により重大な災害が起こる恐れがあると予想されるときには、気象庁から大雨警報が発表されます。大雨による災害は、浸水害のほかにかげ崩れなどの土砂災害があり、大雨警報の発表中に、さらに土砂災害の危険度が高まっている場合には土砂災害警戒情報が発表されます。

●土砂災害警戒情報が出るまで

土砂災害警戒情報は、過去の降雨記録と土砂災害の発生状況から危険と判断されるときに、北海道と気象庁が各市町村に向けて発表します。市はこれを受けて市民に向けて避難勧告などを出すかどうかの判断をします。また、市民の皆さんが自主的に避難する際の判断基準にもなります。

土砂災害の例

地すべり



土の塊が滑って移動する

土石流



山の土砂が雨水と一緒に流れ落ちる

崖崩れ



山の上の岩などが崩れて落ちる

●土砂災害警戒情報が出たら：

土砂災害警戒情報が発表されたら、崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心掛けましょう。また、市から発表される避難勧告などの情報に注意してください。

▼問い合わせ

総務グループ
(☎) 1130

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

大東流合気柔術幸道会登別支部

「大東流合気柔術幸道会登別支部」は侍が考え出した武術の流れをくみ、昭和47年に結成されました。現在は5人の仲間が登別公民館に集まり、火・木曜日の18時30分から20時30分まで、日曜日の10時から12時まで楽しく稽古をしています。

「合気柔術は相手の力を利用して技を掛けるので、体力に自信のない方でも安心して始められます。足腰が鍛えられるので若さが保たれますよ」と笑顔で語ってくれたのは代表の松本雅邦さん。言葉のとおり、現在70歳とは思えない俊敏な動きで若いメンバーの指導に当たります。

今年2月から稽古に参加している佐々木洋孝さんは「体



世代を超えての稽古で健康維持を

同会では稽古をするだけでなく、メンバーが世代を超えて交流できることも大切に考えています。松本さんは「若い人たちが一緒に稽古ができることが何よりの楽しみです。また若い人にとっても年長者との交流の経験は必ず役に立ちます」と話してくれました。一度見学すると実際に技が掛かる楽しさを体感できるそうです。見学希望の方は松本さん(☎) 2012)まで。

知って備える防災メモ・仲間たち